キャリアデザイン部通信

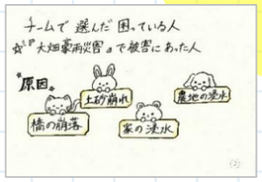
—OMINATO HIGH SCHOOL—

大湊高校探究デザイン部と進路指導部は合体して、本年度より「キャリアデザイン部」となりました。本校の1学期の取組をまとめました。

1年次

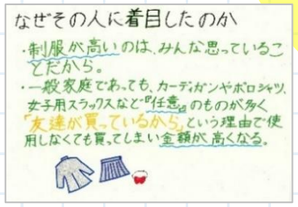
ソーシャルチェンジ

高校生の僕らにできることは何だろう。入学したばかりの4月から探究学習「ソーシャルチェンジ」が始まりました。最終目標は下北で困っている人を笑顔にすることです。グループで悩み、考え、意見を出し合いました。下北にはどんな困っている人がいるのかさえ最初は思いつかなかったかもしれません。それでも全てのグループが諦めずにアイデアをまとめ、スライドを作り、クラスメイトの前での発表を終えました。



△大畑豪雨災害に遭った人を救うには(11HR)

▽制服の購入が難しい中高生のためにできること(13HR)



地域企業講演会

マウスパートナーの代表取締役井本貴之さんをお招きし、講演会を開催しました。

「パソコンに詳しい人は世界中にいるけれど、"下北で"パソコンに詳しい人なら唯一の存在になれるかもしれない。そこに地域で働くことの意味が見出せるのではないでしょうか。」

何か大きなことを成し遂げることだけでなく、目の前の小さなことにも挑戦することの大切さを学びました。

自分なりにできそうなことから取り組み、人とのかかわりを増やしていきたいと思いました。経験を積み重ねることの大切さを学ぶことができました。(12HR生徒)

1年次講評　12HR担任

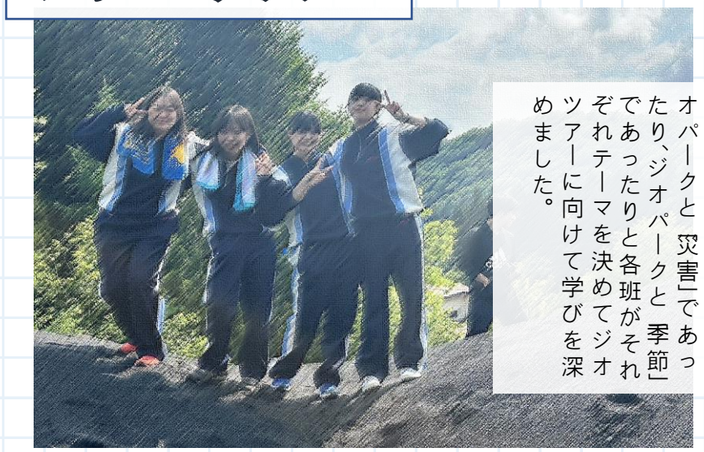
あなたにとって社会貢献とはなんですか？

仕事・社会とは何か、働く人の目線はどこにあるのか？そして自分たちにはなにができるか、を考えた1学期でした。生徒たちが一番苦労したのは、調べたことをまとめることでも、発表そのものでも企業にアポを取ることでもなく、求められていることはなにかを汲み取り、自分の意見をアウトプットすることだったのではないでしょうか。

自分の意見をまとめて相手に伝えることができれば、世界を動かすことができるかもしれません。自分にできることは何か、そのヒントを産社の授業の中で見つけることができればいいですね。

2年次

ジオパークツアー



ツアーガイドの方々をお招きし、各コースの見どころ、人々の活動などを勉強しました。実際に日々多くの観光客や小中学生にガイドをしている方の話はweb上にはない生きた情報でした。ジオパークと「災害」であったり、ジオパークと「季節」であったりと各班がそれぞれテーマを決めてジオツアーに向けて学びを深めました。

▽仏ヶ浦コース(23HR)

▽恐山・薬研コース(21HR)

また、各班でジオパークの魅力をまとめたポスターを文化祭で展示しました。昨年度まであった入場規制がなくなり、保護者のかたはもちろん、地域の小中学生や長く下北に住む方々にも作品を見ていただき、投票してもらいました。

2年次講評　23HR担任

教室の中にはない学びを一緒に探そう

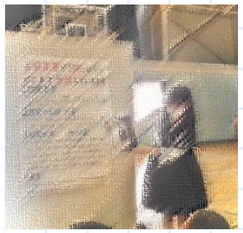
自然と人間の暮らしの両方を理解することで、下北ジオパークの本質が見えてくるのではないか、ということで、1学期ではジオに触れる＆人に触れるというのを意識して活動をしました。素敵な大人に出会い、下北の自然を今までと違った見方でのぞき込むことができました。また、ポスター作りでは今までかかわったことのない同級生たちとも協力して活動していました。2学期は今回の学びを発展させて、自分自身で課題研究に取り組む独自のテーマを決めることになります。教室の中にはない学びをこれからも一緒に探していきましょう。

第1号
青森県立大湊高等学校
キャリアデザイン部
令和5年9月

課題研究発表会

3年次

総合的な探究の時間の成果発表会として、zoomによる配信で、代表4名の生徒が研究結果を披露しました。当初、3年次の生徒全員のポスターセッションを予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況をみて、このような形での開催となりました。後日、7月27日の学校説明会にて、代表生徒が中学生の前で発表しました。



結論

このことから…

異性のきょうだいの有無は影響していない。
家族と仲が良くても保健室登校になる可能性がある。

仮説と違う結果になった。

今後の展望

- ○友達と関わる機会の増やし方
- ○自分に合う友達の見つけ方
- ○各地域での取り組み

「保健室登校を減らす取組」

私は自分の進路に関わる課題研究をしました。自分が今解決できる取組を考えたり調べたりしました。先行生徒に私の研究を知ってもらえたことがうれしく、自信をもって発表できました。一方、まだ解決が必要だと思う部分があります。大学では解決できなかった部分をさらに学んでいきたいと思います。

（31HR生徒）

研究手法

○商品の職員にインタビューをする
○商品の利用者に使ってもらい何人がペットボトルのキャップを開けられるかを実験する

まとめ

○自分が思っている以上に高齢者の力は弱い
○「指先が使いずらい・ペットボトルオープナーそのものを知らない」という人が多い
○便利なグッズをたくさんの高齢者に広める必要がある
○社会福祉協議会にポスターを作って持っていくのはどうかと考えた

「食事や料理をする場面で高齢者でも使えるユニバーサルデザイン」

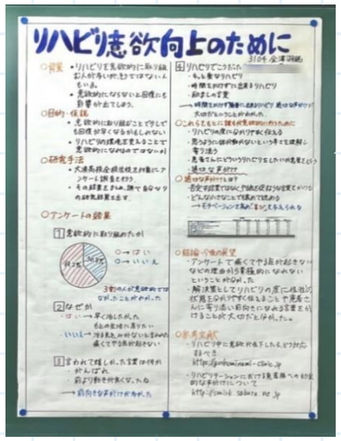
今回の課題研究で私が頑張ったことは、祖母のためにできることは何か、そしてそれをどのように伝えるかを発見することです。実際に施設に伺いお話を聴くことで、自分の考えが大きく変わりました。この経験を忘れずに日々努力していきます。私は大学進学を目指しています。今回の研究をさらに深めていきたいです。

（32HR生徒）

3年次講評　32HR担任

新しい問いを持って次に進もう！

課題研究は、調査を進めていくと最初に立てた仮説とは違うことが出てくることがあります。その度に仮説を考え直したり、また新しい資料を探していくことになります。結論が出てから研究タイトルが決まることも珍しくありません。3年生の皆さんは研究報告書とポスターや発表用資料をまとめていく中で、今まで気づかなかった新しい問いを見つけられたでしょうか？その問いを持って、次の進路に進んだときにさらに探究を深めていってください。



「リハビリ意欲の向上のために」

私は理学療法士を目指しています。課題研究ではリハビリをテーマにしました。テーマ決め、調査、ポスター作りなどの締切に追われながらも、最終的には納得のいく結果を出すことができました。また、研究を進めていく過程で自分にはない考えに出会い、そこから疑問が生まれ、理学療法士についてより詳しく知ることができました。この経験を活かし、多くの人を支えられる理学療法士になりたいと思います。

課題研究発表会@学校説明会

「緩和ケアの認知度向上と死を前向きに考えるためには」

地元の課題である「短命県」に注目し、がん患者に対する緩和ケアについて研究しました。研究を進めていく中で、緩和ケアの認知度やイメージなどを知り、今私がするべき事は緩和ケアについて幅広い年代の方に理解してもらうことだと思いました。死について前向きな思考へと転換させるサポートができる看護師になれるよう、今後も研究を進めていきます。

（31HR生徒）

今後の予定

1年次　今後の予定
【2学期テーマ　下北HEROES】
9月6日　大学生とカタル！
9月14日　大湊大学
10月2日　履修計画
10月10日　リクルート講演会
10月25日ベネッセ進路講演会
12月13日　先輩から学ぶ

2年次　今後の予定
【2学期テーマ　探究活動】
9月14日　大大湊大学
10月10日　リクルート講演会
10月12日　研究手法講演会
10月下旬　課題研究計画
10月25日ベネッセ進路講演会

3年次
【2学期テーマ　進路対策】
9月～　小論文･面接･公務員対策
10月11日　進路講演会
12月13日　進路活動を振り返る

防災プロジェクト

本校を含む、市内4校（大湊・田名部・むつ工・むつ養護）で、昨年から防災に取り組むプロジェクトを進めています。今年度は岩手県と福島県に研修に多くの生徒が参加しました。福島研修では東日本大震災で事故を起こした東京電力福島第一原子力発電所まで、わずか80mの近さで、事故のすごさを体感してきました。そのほか、震災遺構「震災の傷跡を後世に伝える遺跡」を訪問するなど貴重な体験をしてきました。「防災」は今後も力を入れて取り組みます。皆さんの参加をお待ちしています。

△福島第一原発でなくなった方の慰霊碑

△後ろが爆発した福島第一原発1号炉

スキルアップ・プログラム

本校では授業以外での学びや研修、そしてボランティアを「そと学び」として積極的に進めています。参加したそれぞれの学びは、活動時間により単位が決まっており、青森県がすすめる「スキルアップ・プログラム」と連携しています。その単位が20単位以上になると「奨励証」、35単位以上で「認定証」が交付されます。今年度はすでに2名の生徒が「認定証」の交付を受けました。「奨励証」や「認定証」は、自分の取り組みを証明するものとして、進路で活用できます。皆さんも楽しみながら、自分の経験を増やしたり、ボランティアに参加しませんか？

△放課後に行われた外部講師による講演会